

基本理念・原則となる条例(仮称)案(骨子)パブリックコメントの概要

平成22年9月
政策企画部

1 意見の提出状況 26件(23名)

基本的な考え方	6件
基本理念	3件
基本原則	9件
知事等の責務	2件
議会との関係	2件
その他	4件

2 意見の概要とそれに対する回答の趣旨

区分	意見の概要	回答の趣旨
基本的な考え方	○当たり前だが大切である。 ○条例化のメリットは何か。	○当然のことであっても基本的な考え方を共有することにより、府や府民等の役割が明確化され、ともに府政や地域づくりを進める動機付けとなるもの。
	○誰にでも理解しやすい条例を。	○できる限り一般的な用語を使用し平易な文章で表現を検討。
	○「府民」の範囲を明らかに。	○原則として府域に関係するすべての者で住所、国籍を問わない。
基本理念	○差別や格差のないことや助け合いの考え方が大切。 ○地域の特色をいかし、府民の意見を取り入れる考え方が適切。	○いずれも基本理念として示す、根幹となる考え方に通じるもの。
基本原則	○住民や民間の団体等との連携・協働のあり方を示すことが必要。 ○府と市町村との関係や連携・協力のあり方がわかりにくい。 ○府と京都市の関係の明確化や二重行政の改善が必要。	○いずれも府政運営の行動原則である、基本原則に示すこととしているもの。
知事等の責務	○職員の責務についても明記する必要はないのか。	○府政運営の責任者であり、職員を監督する立場の知事等の責務として示すこととしているもの。
議会との関係	○住民の代表として双方が役割を果たすよう方向性を示すべき。	○ともに住民の代表として相互の役割と機能を果たし府民福祉の増進を図るよう、基本となるあり方を検討。

※その他の意見：○政策の効果の表と裏の面を示すべき。
○府政への関心を高め、投票率を上げるよう取り組むべき。
○沖縄の米軍基地を受け容れて、暖かみのある府政とするべき。